

に い が た ろうしきょう NEWS

新潟県老人福祉施設協議会広報誌

2020. 3. 20 NO. 38

巻頭シリーズ・元気な笑顔が素敵！ すまいる介護マン



1

隣接する「お幕場大池公園」の広大な松林を臨むリビングルーム。三方を大ガラスに覆われ、カフェの気分を味わえる。

今は、介護の現場の仕事にバリバリ取り組みたい。

同期の仲間が支えてくれた。今でも月一回は集まって、「やらかしたことを言い合い、励ましあっています。」



2

敷地内には立派な供養塔が。こうした施設の清掃・維持管理など、シルバー人材など連携する地域の人々が多く関わっているのが特徴だ。

■忘れられないこと 初めての利用者様が担当直後に体調を崩されて急逝されたこと。何をすればいいのかわからず、先輩が全部やってくださる姿を、看取りまで見ていました。その後、何人か看取りをさせて頂いたのですが、ご家族と利用者との深い思いがそこにはあって、何と云って慰めたいのかわからないこともあります。そのたびに一日一日、精一杯支援していこうという気持ちになります。高齢者の方は状態がすぐに変わります。仕事には慣れて来ましたが、この人はこうだからと決めつけず、利用者様の小さい変化も目の端でよくみるようにしていきたいですね。

■今後の自分 認知症の方など、行動をよく見て、その方の尊厳を守る支援ができたと思います。そのために、できることを一つずつ増やしたい。社会福祉士など、資格も積極的に取りたい。やりたいことはたくさんあります。



すまいるマン 三須 陽一郎 さん

○所属 特別養護老人ホーム さつき園
○経歴 1995年5月村上市生まれ 新潟医療福祉力レッジ・社会福祉専攻科卒～2018年3月さつき園入職。介護福祉士。
○趣味 体を動かすこと。中学、高校と陸上部で長距離選手。現在も地元のマラソン大会などに参加している。



3

イベントなどで使用される大ホール。定期的にオープンするカフェ施設も併設されている。



特別養護老人ホーム さつき園

○社会福祉法人 村上岩船福祉会
○特別養護老人ホーム 100名
ショートステイ 20名
○新潟県村上市北新保683番地9
TEL 0254-66-8877
URL <http://www.murakamiwafune.or.jp/satuki.html>

毎日、精一杯の支援をすること。

■就職の理由 介護の学校を選んだのは、雰囲気良かったのと、おじいちゃん、おばあちゃん子だったんです。さつき園には実習でもお世話になって、地元の施設で経験を積もうと思いい、入職しました。この施設は職員、利用者様の人数が多いので、厳しい面もありますが、その分学ぶことも多い。委託業者やシルバー人材センターの方が園内清掃やリネン交換をしてくれることで、職員が介護に集中できる点もいいな、と思います。

■仕事のポイント 一年目は頭で分かっているけど体が動かない。利用者様の状況が分かっている面もありました。配膳で間違えた食事を出しそうになったり、特浴なのに家庭風呂に入れそうになったことも。最初は辛かったですね。けれど、大学の仲間がこの施設にもいるし、月に一回くらい同期で飲み会も。励ましあって、全員仕事を続けています。

●●● 令和2年度 新潟県福祉団体共同要望 ●●●



昨年12月24日に、県内の福祉関係10団体が県庁で花角知事と県福祉保健部長に2020年度予算に関する要望を行いました。

本会は高橋会長より「高齢者施設の機能維持のため大規模修繕を補助対象に追加」、「増加する外国人介護人材に対し、受入れ環境整備の施策検討や知見の提供」を要望いたしました。これに対し、知事より「1歩でも2歩でも状況改善できるように取組みたい」、福祉保健部長より「介護人材の確保は喫緊の課題で、財政課と激論を行っている。国の財源を最大限活用するのが県の方針である」との返答を受けました。

◆◆◆ 令和2年度 大会・研修予定 ◆◆◆

～一部研修では2会場での開催を予定しています。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております～

研 修 名	日 程	会 場	対 象	内 容
第25回新潟県老人福祉施設研究大会	9月16日(水)・17日(水)	月岡温泉「泉慶」		全体会・分科会
Web自立支援介護研修会	毎月第4火曜 全12回	—————		自立支援介護
新潟県介護力向上講習会	奇数月第2木曜 全6回	燕三条地場産センター		自立支援介護
管理者研修会 第1回	6月17日(火)	新潟ユニゾンプラザ		
第2回	3月下旬	新潟ユニゾンプラザ		
企画研修第1回研修会	5月22日(金)	研究・研修センター長岡	初任者	記録方法
	5月28日(木)	新潟ユニゾンプラザ		
第2回研修会	7月10日(金)	新潟ユニゾンプラザ	相談業務に携わる職員	苦情解決 困難事例等解決方法
	11月6日(金)	燕三条地場産センター		
第3回研修会	7月16日(木)	新潟ユニゾンプラザ	新任責任者・管理者	ハラスメント防止対策 働き方改革の実践
第4回研修会	9月28日(月)	燕三条地場産センター	中間管理職	コーチングスキル
第5回研修会	11月27日(金)	長岡市内・調整中	現任職員	自立支援介護
	1月22日(金)	新潟ユニゾンプラザ		
総務委員会企画研修	調整中			

※ 変更になる場合がございます。正式なご案内は改めてお知らせいたします。

※ その他、各ブロック部会で研修会を開催予定です。（主に偶数月）

研修会報告

第3回研修 7月12日(金)/国際佐渡観光ホテル八幡館

「明日に活かそう、利用者の思いを尊重した支援とは～認知症の人の意思決定支援の在り方について～」

講師: 日本意思決定支援ネットワーク 代表
筑波大学大学院人間総合科学部研究科 講師
名川 勝 氏

講師: 日本意思決定支援ネットワーク 副代表
法テラス埼玉法律事務所 弁護士
水島 俊彦 氏

意思決定支援の基本的な考え方やプロセス等の講義のほか、トーキングマットを用いた演習を行いました。「ご本人の思いや希望を聞き出す技法の体験ができて参考になった」との意見が多く寄せられました。



講師のお二人。左:水島氏 右:名川氏 トーキングマットを体験

第5回研修 11月15日(金)/燕三条地場産業振興センター

「決算書類から見た施設管理(経営)についてー講義・演習ー」

講師: 税理士法人新潟合同事務所 愛宕事務所
代表社員・税理士 土田 隆 氏

「施設における電子媒体による情報管理について」

講師: いなほ法律事務所
代表・弁護士 磯部 亘 氏

「社会福祉施設等における『原子力災害避難計画』の策定について」

講師: 新潟県防災局 原子力安全対策課原子力防災対策係
主査 中倉 五吉 氏



土田 隆 氏

磯部 亘 氏

中倉 五吉 氏

総務委員会企画研修 2月3日(月)/ハイブ長岡

「施設の防災対策は大丈夫ですか?～各種災害への考え方や具体的な対策を学びませんか～」

講師: 社会福祉法人 桜井の里福祉会 専務理事 佐々木 勝則 氏



佐々木 勝則 氏

本会総務委員会の企画で実施の「災害対応研修」ですが、今回は「施設内で防災担当者は何をすべきか」等を考える機会にしたいと上記テーマでの開催となりました。予想を上回る多くの方からの参加があり、狭い会場となってしまいましたが、佐々木先生の実体験や実際の災害の実例を基に話された講義に、施設の対策ではまだまだ不足していることがあることや、今後具体的に取り組まなければならないことが見えた実りの多い研修となりました。

第4回研修 9月30日(月)/燕三条地場産業振興センター

「介護施設における身元保証

～連帯保証人と身元引受人の違い～」

講師: 中澤泰二郎法律事務所

弁護士 中澤 泰二郎 氏

「ソーシャルワーク専門職としてのあり方、

現状と課題についてー講義・演習ー」

講師: 新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科
学科長 渡邊 敏文 氏

2020年4月の法改正に向けて身元保証や契約について具体的に学べた機会となったほか、ソーシャルワーカーとしての視点や考え方などを、演習も取り入れながら再認識ができた研修となりました。



第6回研修 1月24日(金)/新潟ユニゾンプラザ

「現場職員から見た自立支援介護」

- ① 基本ケア(水分・食事・排泄・運動)の重要と実践例
- ② 排便のメカニズムとケア方法～便失禁をなくす～
- ③ 排便姿勢の作り方と介護技術

講師: 株式会社サンケイビルウェルケア運営支援部
自立支援教育課課長 根岸 広英 氏

根岸先生の根拠に基づいた分かりやすいお話に、水分ケアをはじめとする基本ケアの重要性、体の支点・重心を意識して行う負担のない介助方法に理解が深まりました。



正しい姿勢について確認



少ない力で負担のない介助方法を実演くださる根岸先生

令和元年度各ブロック部会の活動報告

第1ブロック

●第1回研修会 6月27日(木)●

「チームワークの再考
～人材育成とモチベーションについて～」



イクネスしばたにて、本会高橋会長を迎え「チームワークの再考」～人材育成とモチベーションについて～を講演して頂きました。受講後参加者からは、もう一度原点に戻りつつも時代に合わせた育成をしていきたいとの意見がありました。どこの施設でも直面している内容であり個人のスキルアップは勿論のこと、それぞれのポジションに応じて求められる能力や組織、事業への理解を深めることができました。

●第2回研修会 11月22日(金)●

「施設における感染症対策
～介護現場への浸透～」

新潟ユニゾンプラザにて、障がい者支援施設いわくすの里の主任管理栄養士 井上美和子氏を迎え「施設における感染症対策」～介護現場への浸透～について講演して頂きました。流行時期でもあり、管理栄養士の参加も多数みられました。感染源を持ち込まないことを意識し予防に重点を置くとともに、感染症が万が一発生した場合でも拡大防止や健康被害の最小化を図る上で正しい知識を共有する取り組みについて再確認できました。

(担当：川原由佳)



第2ブロック

●第2回研修会 10月21日(月)●

「高齢者の意思決定支援～その人らしく生きることを支えるために～」

「高齢者の意思決定支援」と題して、相談支援センターそらうみ管理者の本間奈美氏よりご講演いただきました。講演では近年増えている高齢者の意思決定についての様々な関わり方や、ご本人の表情や動きなどを感じ取りながら意思決定に繋げていくことの重要性を学びました。また「トーキングマット」というツールを利用してご本人の意思を導き出す手法について実際に体験し、普段のグループワークとはまた違った和やかな研修会となりました。(担当：梅澤 健)



第3ブロック

●講演会 6月28日(金)●

「チームワークの再考 ～人材育成とモチベーションについて～」

燕三条地場産業振興センター リサーチコアにて本会高橋会長を講師にお迎えし講演を頂きました。チームワークの意味するもの、過程などを様々な角度から教えて頂きました。参加者も多く、各施設でも課題となっていることでもあり参考になったとの声も聞かれていました。



●施設見学会 6月28日(金)●

・8月29日 ケアセンター花の里かつぼ

・10月18日 特別養護老人ホームみしま園

前年度行われた事例発表会にて「行ってみたくて賞に選ばれた2施設にて開催されました。花の里かつぼ様では『地域の人と「あたりまえ」のつながり』をという内容で発表を頂きました。職員の方々のご利用者へ対する支援への熱意が素晴らしく、地域における役割、繋がりを大事にしてご利用者を主役として生活援助をされていました。参加された方々からも「皆さんの真剣な気持ちが励みになった」「刺激になった」などの声が聞かれ有意義な研修になったと思われます。

みしま園様では『PTAを継続して』という内容で発表を頂きました。プロジェクト・チーム・アクションを行いチーム内での意識変化、さらにご利用者へのサービス向上になったことが評価としてあがってきたとのことでした。「人員・人材不足があるなかで利用者優先の取り組み、考え方がすばらしいと思う」「今ある中で何ができるかをこれから考えていきたいと思った」等の感想が聞かれました。(担当:御苑義彦)



第4ブロック

●第1回研修会 6月18日(火)●

「リスクマネジメント ～ハラスメント、記録、分析力を養う～」

クロステン十日町を会場に本会高橋会長を講師に迎え開催しました。近年、重大事故等により事業の経営が出来なくなるケースがあり、それを回避する為にはどんな事に取り組めば良いかを学ばせて頂きました。一概にリスクマネジメントと言っても広範囲に渡りますが、経営管理におけるリスク、介護サービスにおけるリスク等あらゆる側面からの対策が必要なのだと実感しました。高橋会長の「施設の中で起きた事は、どんな事でも責任がある」との言葉を胸に留めて業務を行っていきたいと思いました。(担当:江口隆之)



●第2回研修会 10月25日(金)●

「未来を拓く介護の現場～今、私たちにできること～」

『日本介護福祉士会』副会長 宮崎則夫氏を講師にお招きし、介護人材・介護福祉士のモチベーション・「福祉」が入っている介護福祉士などの資料をもとに今後の問題や課題をわかりやすくご講演していただきました。

後半は、グループワークを中心に新たに介護に関わる人を対象として福祉のアピール合戦をして、様々な意見交換を行いました。

(担当:鵜飼めぐみ)



第5ブロック

●第1回研修会 6月10日(月)●

「介護職員の感情労働のストレスケアとモチベーションアップについて」

ホテルハイマートにて、「介護職員の感情労働のストレスケアとモチベーションアップについて」と題して、メンタルヘルスコーチの山岸智子先生を講師にお招きし、介護職員を中心に50名の方々から参加を頂きました。ストレスケアにはセロトニン(幸せホルモン)を増やすことが重要で、「日光を浴びる15～30分」、「よく噛む」、「リズム運動を行う」、「呼吸法」等を継続することでセロトニンを分泌しやすい脳になるとのことでありました。また、2人1組となり、モチベーションアップのためのコーチングを実践しました。(担当:矢嶋文博)



～もうひとつのわが家づくり地域と共に～

特別養護老人ホーム分水の里 施設長

青木 裕子さん

●施設長リレーコラム●



分水の里は、社会福祉法人桜井の里福祉会の一つの拠点であり、開設より21年目を迎えています。長期入所、短期入所、通所介護（2事業所）、地域包括支援センター、居宅介護支援センター、訪問看護ステーション、配食サービス、生活支援ハウスと9事業を運営しています。法人理念でもある～もうひとつのわが家づくり～を目指して日々奮闘しているところです。弥彦山、国上山を仰ぎ、信濃川を携え、春の「分水おいらん道中」を初め、分水の土手のお花見、寺泊の海、弥彦の菊まつりや紅葉狩り、雪の弥彦神社と四季折々ご利用者には楽しんでいただいています。

大きな行事として8月の納涼祭では、地域の方や商工会の方々が一緒に盛り上げてくださり、皆で一緒に楽しめるお祭りを開催しています。

もう一つは、12月のクリスマス・忘年会。職員の出し物は勿論のこと、個人や団体さんがボランティアに来られ、歌やマジックの披露があったり、商工会青年部のサンタクロース、児童クラブの子供たちが盛り上げてくださり、ご利用者、ご家族ともに楽しんでいただいています。

近年取り組んでいることとして、二つの通所介護事業所では、基準該当放課後等デイサービスをし、重症心身障がい児をお預かりしています。現在は5名のお子さんたちが登録して下さり、お風呂に入ったりご利用者から絵本を読んでいただいたり、一緒に音楽を楽しんだり短い時間ではありますが、高齢者と一緒にひと時を過ごしています。また、地域でサロンがなくなって集まれる場所がないという声を聞き、『地域のえんがわ』というサロンをまちづくり協議会さんと一緒に立ち上げました。施設からの情報提供や勉強会、軽い運動、一緒に作る軽食を食べ、おしゃべりに花を咲かせ笑いながら帰ってくださいます。

他に、法人の取組として職員の消防団への加入（日々の活動に加え、女性部も活躍しています）、DCAT（災害時の介護福祉士等の派遣で東日本大震災、熊本地震への支援等）地域貢献にも力を入れています。

今できる事を継続しながら、ご利用者だけでなく、地域の方やご家族へも～もうひとつのわが家～と親しんでくださるような施設を目指していきたいと思います。



基準該当放課後等デイサービスの様子



クリスマス忘年会のサンタクロース



ベトナムからの留学生ウエルカムパーティの様子



弥彦神社参拝



大好きな弥彦競輪へお出かけ『勝った?』



サロン『地域のえんがわ』の様子

事業所所在地	燕市新堀2479番地2
運営事業者	社会福祉法人 桜井の里福祉会
事業所の種類	特別養護老人ホーム 50名
連絡先等	TEL 0256-97-7111 FAX 0256-97-7110

発行所 一般社団法人 新潟県老人福祉施設協議会
新潟県新潟市中央区上所2丁目2-2 新潟ユニゾンプラザ2F
電話 025-281-5534 発行人 高橋是司
にいがたろうしきょう NEWS 令和2年3月20日発行